

講演会

「カラヴァッジョの
《キリストの埋葬》に見られる古典性と革新性」

― 大阪・関西万博バチカン出展 ―



カラヴァッジョ

2025.5.10 土

■会場 大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂／小聖堂にて

■時間 午後2時～5時

入場料無料

講師



木村 太郎氏 大阪芸術大学・神戸女学院大学非常勤講師

2007年、大阪芸術大学大学院博士課程修了。博士（芸術文化学）。2012年からピサ大学美術史学科留学（イタリア政府給費留学生）。現在、大阪芸術大学・神戸女学院大学非常勤講師。専門はイタリア・バロック絵画史。単著に『カラヴァッジョを読む―二点の通称《洗礼者聖ヨハネ》の主題をめぐって』（三元社、2017年）、共著に『天空のアルストピア―カラヴァッジョからジャンバッティスタ・ティエポロへ』（ありな書房、2021年）。

<主催> カトリック大阪高松大司教区 聖年・万博委員会